

coffeebeat コーヒービート

コーヒービートが
へんしん
マウスに変身!

1

コーヒービートの
マウスをつくらう!



チュウ
チュウ

かわるよ!



🕒 40分 くらいでつくれるよ

さんめんず
■ 三面図



まえみ
前から見たマウス



よこみ
横から見たマウス

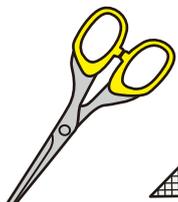


うし
後ろから見たマウス

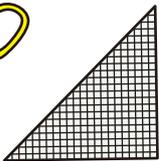


うえみ
上から見たマウス

じゅんび
■ 準備するもの

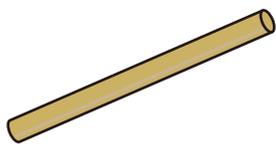


はさみ

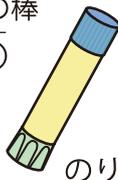


じょうぎ
定規

とうめい こうしもよう
(透明で格子模様がある
さんかくじょうぎ つか
三角定規が使いやすい)



まる
丸みをつけるための
ぼう
棒
オーケー
(太いペンでもOK)



のり



りょうめん
両面テープ
または
セロハンテープ



か
書けないボールペン
おすじ ひ
(折り筋を引くための
さき
先のとがったもの)



しるし
印をつける
ためのペン

保護者の方へ

- ・ 工作をする際にはさみを使用します。けがや事故が起きないように十分にご注意ください。
- ・ パッケージはほとんどすべて使い切ります。商品を取り出す際にフタがやぶれないように展開してください。
- ・ 工作をされるお子様の年齢によっては保護者の方の全面的なサポートが必要となります。



はじめに



コーヒービートの
パッケージを分解します。

まるいた
丸板



ふた



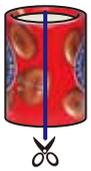
ケース



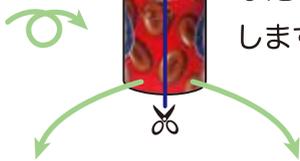
まるいた
丸板

ふたを切り分ける

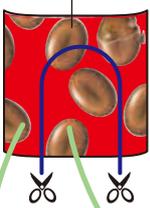
ふた



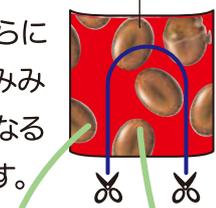
ふたを縦に2分割
します。



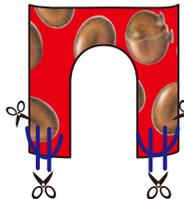
まわっている部分を
開きます



まわっている部分を
開きます



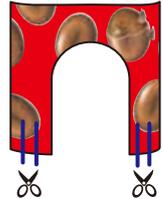
うで



みみ



あし



みみ



適切な長さで先端を3分割します。うでの部品だけ
先端を丸く切ります。

ケースを切り分ける

ケース



パッケージの文字を目安にして
ケースを数字の順番で切り分けます。



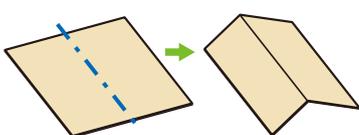
① 紙の切れ目

② 「ゼラチン」と「アラビアガム」のあいだ
④ 枠の上の線

③ 「e」と「b」のあいだ

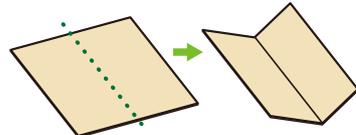
工作のコツ

■ やまおり



折った部分がとがって「山」のように見えるので山折りといいます。

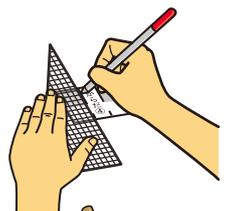
■ たにおり



折った部分がへこんで「谷」のように見えるので谷折りといいます。

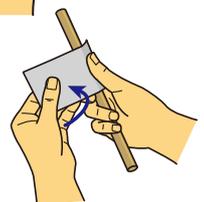
■ 折る

折り線のあるところは書けない
ボールペンで溝を引いてから折ると正確にまっすぐ折れます。



■ 丸みをつける

丸い棒に部品を押し当てて
少しずつ曲げぐせをつけていきます。

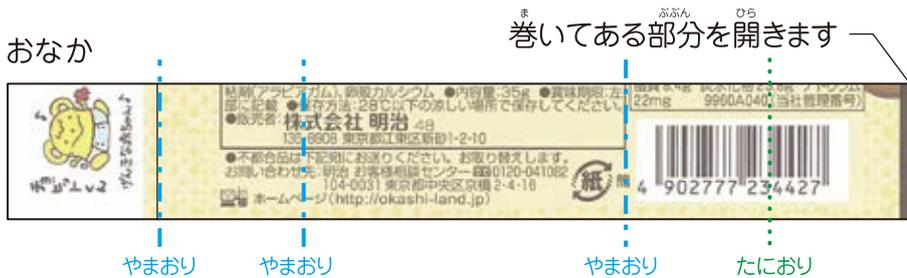


ばしょ 場所にはのりや両面テープを貼ってね

どうたい 胴体をつくろう

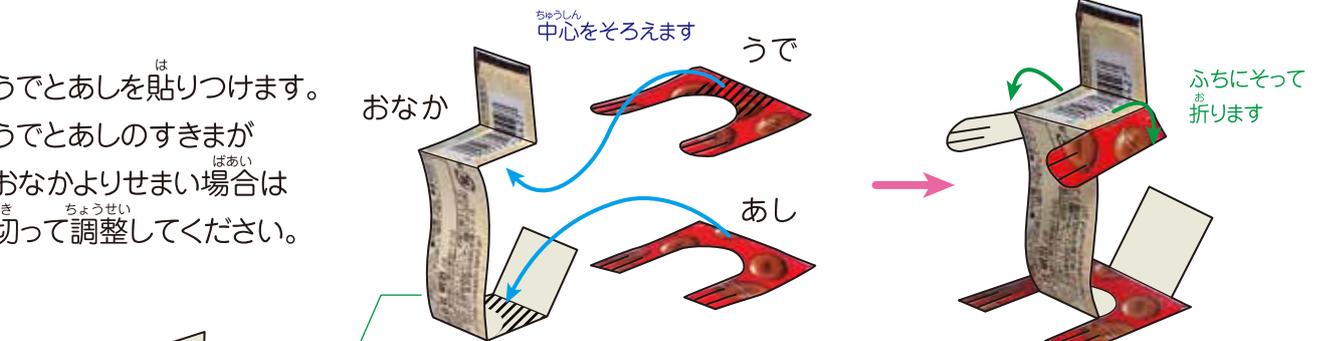


どうたい 胴体

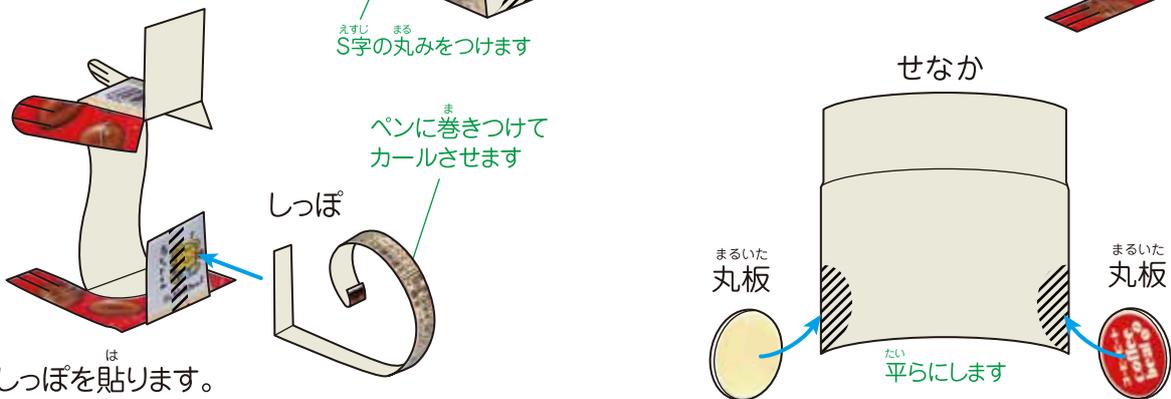


- 1 パッケージの文字やイラストを
めやす 目安にしておなかを折ります。

- 2 うでとあしを貼りつけます。
うでとあしのすきまが
おなかよりせまい場合は
き 切って調整してください。



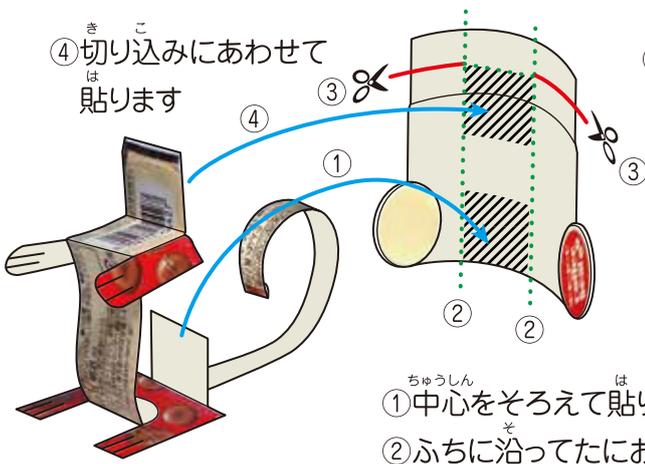
- 3 しっぽを貼ります。



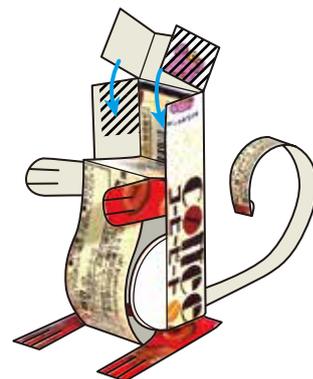
- ④ 切り込みにあわせて
は 貼ります

- ③ ふたをはめる部分の
はんぶん たか 半分の高さで切り込み
をいれます

- 4 まるいた はんぶん だ
丸板を半分だけ出して
したかわ は
せなかの下側に貼ります。

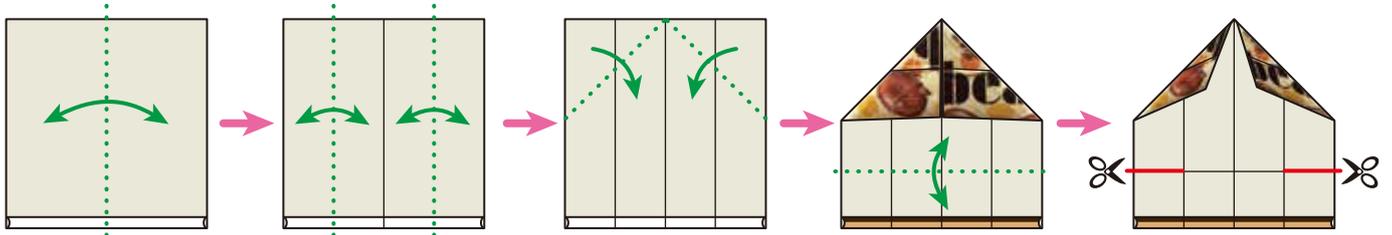


- 5 すうじ じゅんばん 数字の順番でせなかを貼りあわせます。

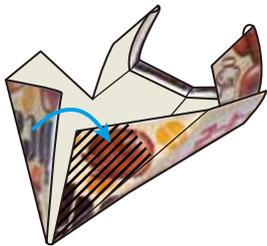


あたま

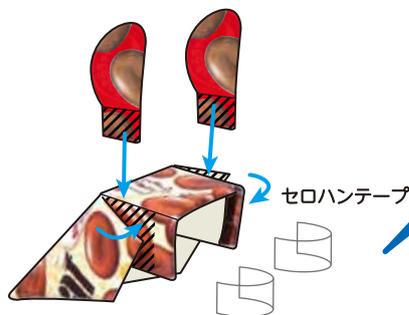
頭をつくろう



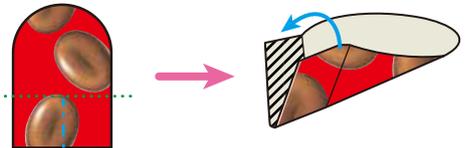
- 1 おりがみ 折紙のように端と端をあわせて折り線をつけていきます。折り線を目安に切り込みを入れます。



- 2 さんかく部分は 三角部分を貼りあわせませう。

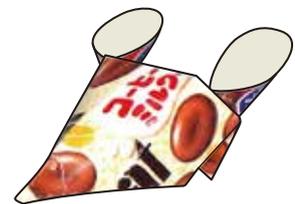


みみ



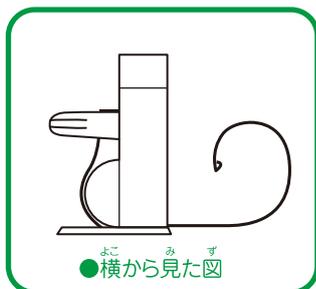
した 下から1センチ位の位置に折り線をつけて
ねもと 根元を二つ折りして貼ります。

- 3 みみをすきまに差しこむように は 貼りつけます。はがれやすいので セロハンテープで補強します。

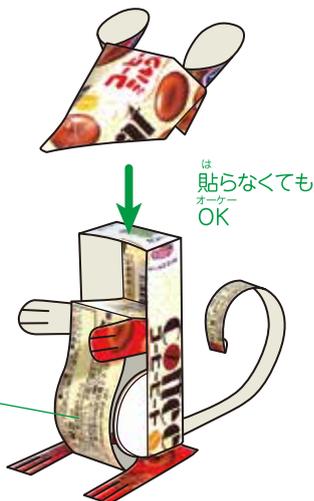


あたま 頭のできあがり。

全体を組み立てよう



まるいた 丸板がおなかの中に入るようにします



あたま 頭を好きな角度で胴体にかぶせます。

